

生命保険会社の ディスクロージャーって何のこと？

ディスクロージャーとは

ディスクロージャーって何のこと？ “disclosure”とは物事を公に明らかにすることをいいますが、ここでいうディスクロージャーとは、「企業の経営内容の公開」のことです。

生命保険会社は、どのような事業を行っているのか、経営内容や財務状況はどうなっているのか、どんな保険商品やサービスがあるのか、などの情報を開示しています。

ディスクロージャーによって、経営の透明性が高まるとも

に、社会からの評価にさらされることで、より一層の経営努力がなされることが期待されるのです。

規制緩和の進展によって、ご契約者の自己責任も問われるようになってきました。ご自分の契約している、あるいは契約しようとしている生命保険会社の経営状態は、現在、どのようになっているのか、今後の経営方針はどのようになっているのか、などについて興味を持って調べてみましょう。

生命保険会社のディスクロージャー誌

ディスクロージャー誌の内容

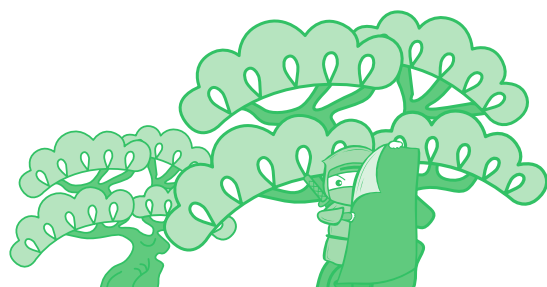
生命保険会社は、法律（保険業法第111条）によって、事業年度（4月1日～3月31日）ごとにディスクロージャー誌（「〇〇生命の現状」「決算のご報告」など名称は会社によって異なります。）を作成することが義務づけられています。また、ディスクロージャー誌に掲載する内容についても法令で定められています。

さらに、生命保険協会では、生命保険各社に前向きなディス

クロージャーを促すために、法令で定められた項目の他に自主的に開示すべきと判断した項目を加えた「**ディスクロージャー開示基準**」（29ページ参照）や比較を容易とするための統一様式「ディスクロージャー要綱様式モデル」を作成しています。なお、生命保険各社が「開示基準」にない情報を開示することを妨げるものではなく、実際に多くの会社は皆さまに自社を理解していただくための前向きな情報開示を進めています。

ディスクロージャー誌の主な内容

- 会社の概況**・・・沿革、組織、店舗網、株式・株主の状況（株式会社）、総代（相互会社）、役員、従業員の状況など
- 業務の内容**・・・主要な業務の内容、経営方針など
- 事業の概況**・・・商品一覧、営業職員・代理店体制、公共福祉活動など
- 財産の状況**・・・計算書類（貸借対照表、損益計算書など）、不良債権の状況、ソルベンシー・マージン比率、有価証券等の時価情報など
- 業務の状況**・・・決算業績の概況、契約増加率等の指標、資産運用の概況など
- 会社の運営**・・・リスク管理の体制、法令遵守の体制、個人データ保護についてなど



ディスクロージャー誌をご覧になるには

法令の規定により、7月末までに、ディスクロージャー誌を本社・支社・支部・営業所・事務所などに備え置き、広く閲覧できるようにすることが義務づけられています。現在、全ての生命保険会社が、自社のホームページにディスクロージャー誌の内容を掲載しています。

生命保険協会では、全社のディスクロージャー誌を取り揃えており、本部と全国53カ所の地方連絡所（42ページ参照）でご覧いただくことができます。また、全国の消費生活センターでもご覧いただけます。

その他のディスクロージャー

生命保険各社は、決算（案）の内容や四半期（6月末、9月末（上半期末）、12月末）の業績について、それぞれ報道機関に資料を発表しています。この資料は各社のホームページに掲載されます。また、生命保険協会のホームページ（<http://www.seiho.or.jp/>）に全社の決算発表、四半期報告の資料を掲載しています。

ご契約者の皆さまへの諸通知とあわせ、決算状況についての情報を送付している生命保険会社もあります。

また、会社の経営内容に関わる重要なことがらが発生した場合は、随時報道機関にその事実が発表されます。

この解説冊子『虎の巻』は、ディスクロージャー誌のうち主に「財産の状況」「業務の状況」などの業績に関する諸資料をお読みになることを意識して、そのポイントを解説したものです。新聞などで報道される決算などの記事をお読みになる際にも役立ちます。

参考

生命保険業界のディスクロージャーに関する取組み

生命保険会社を取り巻く環境が変化中、生命保険協会ではディスクロージャーの推進に対して積極的に取り組んでまいりました。

これまでの主な取組みについては下の表をご覧ください。

さい。

生命保険協会では、生命保険会社に対する理解をより一層深めていただけるよう、今後ともディスクロージャーの推進に努めてまいります。

決算年度	内容
平成8年～	「決算報告書」、「業績のお知らせ」、「〇〇生命の現状」の3種類のディスクロージャー資料を、新たに「ディスクロージャー資料」として一本化
平成9年～	ソルベンシー・マージン比率を開示
平成10年～	連結財務諸表を作成 直近5事業年度の主要な業務の状況を開示
平成11年～	債務者区分による債権の状況を開示
平成12年～	基礎利益、キャッシュ・フロー計算書を開示
平成13年～	契約時期別の責任準備金残高の開示 ソルベンシー・マージン比率の内訳を開示
平成16年～	保有ベースの医療保障・生前給付保障等（年換算保険料）、異動状況の推移を開示
平成17年～	医療保障・生前給付保障等の新契約分に加え、個人保険・個人年金保険及び合計の各保有契約・新契約ベースの年換算保険料を開示
平成18年～	基金等（株主資本等）変動計算書を開示
平成19年～	生命保険会社の相談・苦情処理態勢や苦情をふまえた業務改善事例を開示
平成20年～	反社会的勢力の排除のための基本方針を開示
平成22年～	連結包括利益を開示
平成23年～	連結ソルベンシー・マージン比率を開示